

解答

一

- 問一 1 方針 2 潮位 3 頭脳 4 善悪 5 減少 6 糖分
7 祭礼 8 よそお〔う〕 9 こくもつ 10 演奏
問二 1 言語道断 2 一朝一夕 3 絶体絶命 4 危機一髪 5 以心伝心

二

- 問一 長所：異なる文化の影響を受けながら自国に合うよう取捨選択し、内発的發展をしながら文化をつくりあげる。
欠点：生産力や軍事力が強い国の影響によって、弱い国のものや文化の多様性が失われ、国の自立性が無くなること。
- 問二 戦国時代から江戸時代の日本人
問三 戦国時代や江戸時代の日本人はヨーロッパから伝わったものを部分的に取り入れたこと。
問四 1 秋 2 冬 3 春
問五 江戸時代の日本人は、外国のものと日本のものとを組み合わせ、固有の日本文化を作り上げたこと。
問六 地震が多い国なのに原子力発電所を作る
問七 内発的發展

三

- 問一 イ
問二 念
問三 3 エ 4 ア
問四 家族の気持ちがまとまっていないとき。
問五 マキのカードに「ありがとう」と「ゴメンナサイ」が書いてあると知らず、あいさつは大事だと説教したから。
問六 お母さんが、自分のことも実の子のマキと同じように考えていると感じて、うれしく思っている。
問七 ウ
問八 ア
問九 エ

解説

二

- 問一 長所は、本文の中ほどに、「異なる文化の影響を受けながらも・・・グローバリゼーションの長所です。」の部分に述べられています。短所は、冒頭の「大量に製品を・・・それらの点が短所です。」の部分に述べられています。それぞれ要約して答えましょう。

三

- 問六 本文全体から、お父さんとフミ、お母さんとマキという組み合わせが家族になったことを読み取りましょう。フミが「亡くなったお母さんのことを思いだした」り、新しい姉であるマキに遠慮したりしているのに、お母さんは、「わたしの子どもは、二人とも、とっても優しい」と言ってくれます。